



地域のたすけあいに

今こそ参加しよう！

コミュニティワーکر地域ではたらく

福祉クラブ生協は、日本初の福祉専門生協として1989年に横浜市港北区でスタートしました。住み慣れた地域で住み暮らし続けるために、困ったときはお互いさま、たすけあいは順番と考え、地域でサービスが必要とする人のサポートを、さまざまな年代の組合員が、W・Co(ワーカーズコレクティブ)として活動に参加し、コミュニティワークを実践しています。



60代

まだまだ現役



移動サービスW.Co Tさん

車の運転が好きなのを活かし、定年後は福祉クラブの移動サービスで「外出が困難な方をサポートしています。『ありがとう』の声をいただけるのがやりがいです！



40代

交流が楽しくて



世話焼きW.Co Nさん

自宅周辺で週1回組合員へ配達をしています。仕分けとお届けは適度な運動。そして組合員との楽しいおしゃべりで心身ともにリフレッシュ！ご近所との繋がりが広がりました。



20代

子育てとの両立



食事サービスW.Co Hさん

福祉クラブの保育室に子どもを預けてワーク参加。子どもの社会性も生まれ、私の気分転換にも。何より子どもを見てくれているのもW.Coなので安心！



わー子

福祉クラブの活動を「わー子さん」と「ふくしさん」が分かりやすく紹介しています →



ふくし

W.Co(ワーカーズコレクティブ)とは

誰かに雇用されて働くのではなく、自らが出資し、運営に参加し、ワークを行う非営利・協同の組織です。2021年4月現在、福祉クラブ生協には19業種123団体のW.Coがあり、3,300名以上が参加して、組合員どうしのたすけあいの街づくりを進めています。